

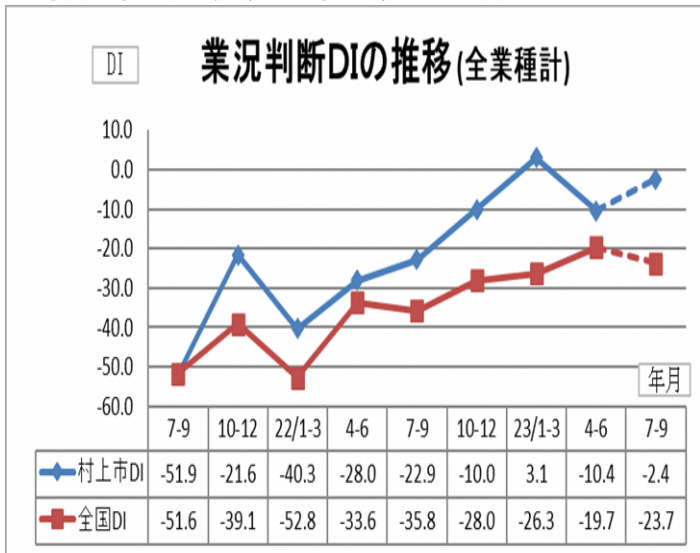


村上市 景況調査報告

〈令和5年4-6月期の実績・令和5年7-9月期の見通し〉

『持ち直しの動きがみられるが、物価高騰による影響は大きい』

■村上市の業況(全業種計)

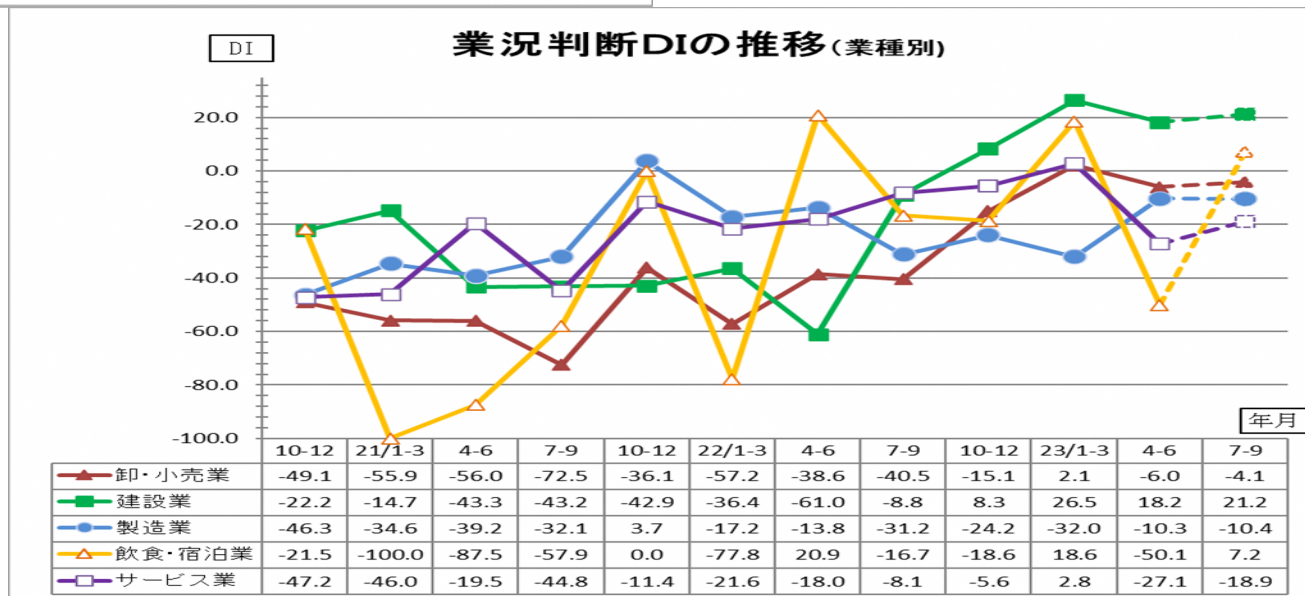


今期(4-6月期)の業況判断DI(全業種計)は、前期(1-3月期)と比べ13.5%低下し▲10.4となった。前期における今期予測(11.3)より21.7%低下し前年同月比では17.6%上昇した。全国DIは6.6%上昇し▲19.7となった。

来期(7-9月期)については、8.0%上昇し▲2.4となる見通し。全国DIは4.0%低下し▲23.7となる見通し。

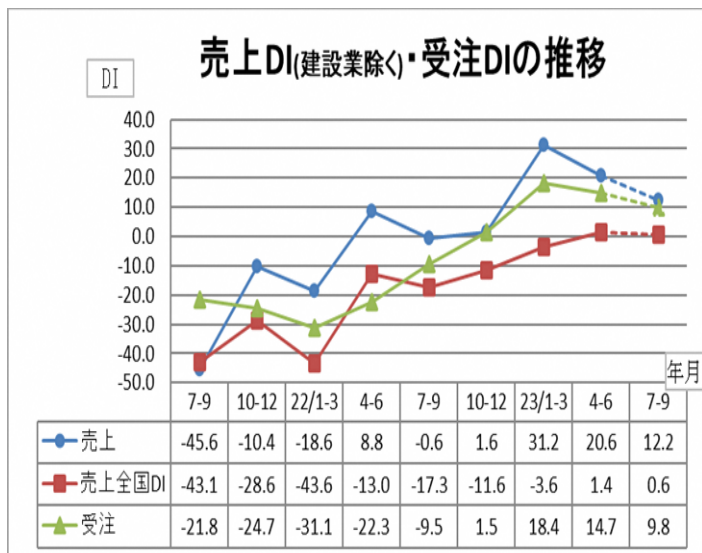
コロナ感染症が5類に移行され売上は増加傾向だが、物価高騰により利益が圧迫されている。「経営上の問題点」の設問では初めて、求人難が売上不振を上回った。

見通しとしては、飲食・宿泊業では夏休みの需要期待が大きい、その他の業種ではほぼ横ばいとなっている。



■各業種の動向

卸・小売業	建設業	製造業	飲食・宿泊業	サービス業
<p>コロナ感染症が5類に移行されて人流が増え、会合やイベントも再開しており、青果・精肉・鮮魚・酒類・弁当販売は売上好調のようだが、物価高騰により利益が圧迫されているという声は多い。自社イベント、新商品導入、販路拡大など営業努力をしているコメントもある。</p> <p>見通しとしては、諸物価高騰により消費者の節約志向は今後も続くと思われている。</p>	<p>前々期と比較すると災害復旧工事による受注増というコメントは減少してきている。関連して、競争激化、求人難、採算性悪化、資材高騰による計画延期などのコメントが寄せられている。</p> <p>見通しとしては、引き続き同じ状況が続くと予想され、グラフを見てもほぼ変わらない状況となっている。</p>	<p>食品製造業では原価高騰で前期からの生産調整で今期の売上が減少。住宅関連製造業では、着工棟数の減少というコメントが非常に多い。航空機関連製造業では、ベテランの退職によりスキル不足。</p> <p>見通しとしては、引き続き、人材不足・受注減少などの懸念材料が多いが、グラフはほぼ横ばいを示している。</p>	<p>コロナ感染症の落ち着きに伴い売上が増加してきているものの、材料・水道光熱費等の高騰により大きく利益が圧迫され、価格転嫁はできていない状況にある。宿泊業では全国旅行支援がなくなったことから旅行需要が伸びていない。</p> <p>見通しとしては、お盆の帰省や夏休みの需要に期待される声が多く、大きく上向いていくと予想されている。</p>	<p>旅行業では団体旅行が増加。タクシー・清掃業・自動車整備業では人手が確保できればさらに売上増加が見込めたとのコメントが多いことから人手不足の問題が大きいと伺える。</p> <p>見通しとしては、イベント再開、旅行需要が引き続き増加との見通しから、期待を込めグラフも若干の上向きとなっているが、コロナ特別貸付の返済開始が懸念されている。</p>



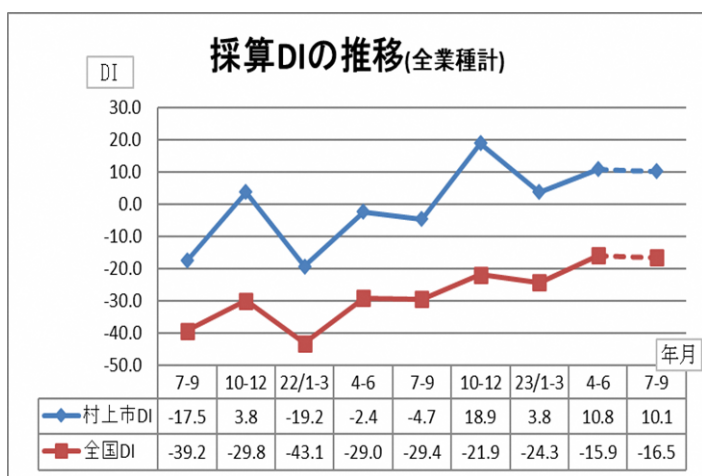
今期の売上DI(建設業除く)は、前期と比べ、10.6ポイント低下し20.6となった。前期における今期予測(34.4)より13.8ポイント低下し前年同月比では11.8ポイント上昇した。全国DIは5.0ポイント上昇し1.4となった。

来期については、8.4ポイント低下し12.2となる見通し。全国DIは0.8ポイント低下し0.6となる見通し。

今期の受注DI(建設・製造業)は、前期と比べ、3.7ポイント低下し14.7となった。前期における今期予測(8.3)より6.4ポイント上昇し前年同月比では37.0ポイント上昇した。

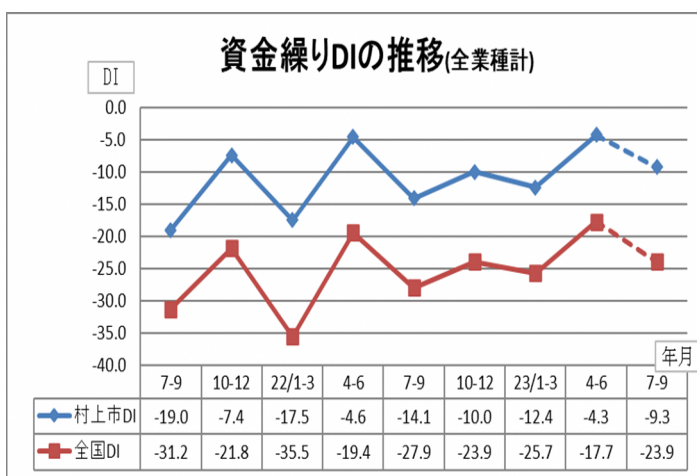
来期については、4.9ポイント低下し9.8となる見通し。

【受注DIの内訳】	前期	今期	来期
・建設業	33.3	30.3	9.1
・製造業	0.0	▲3.5	10.7



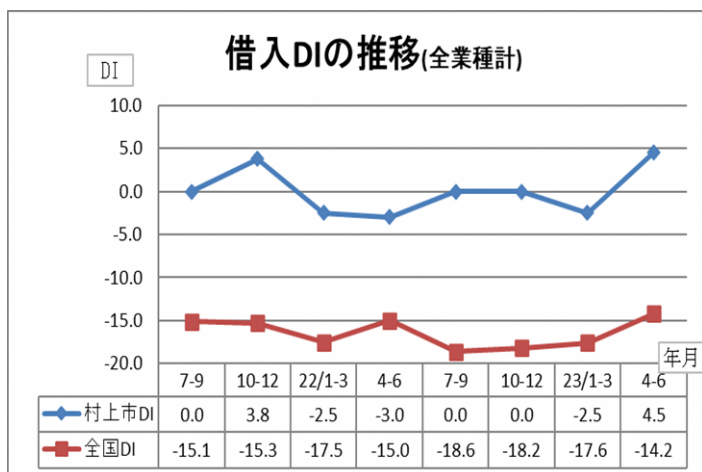
今期の採算DI(全業種計)は、前期と比べ、7.0ポイント上昇し10.8となった。前期における今期予測(13.2)より2.4ポイント低下し前年同月比では13.2ポイント上昇した。全国DIは8.4ポイント上昇し▲15.9となった。

来期については、0.7ポイント低下し10.1となる見通し。全国DIは0.6ポイント低下し▲16.5となる見通し。



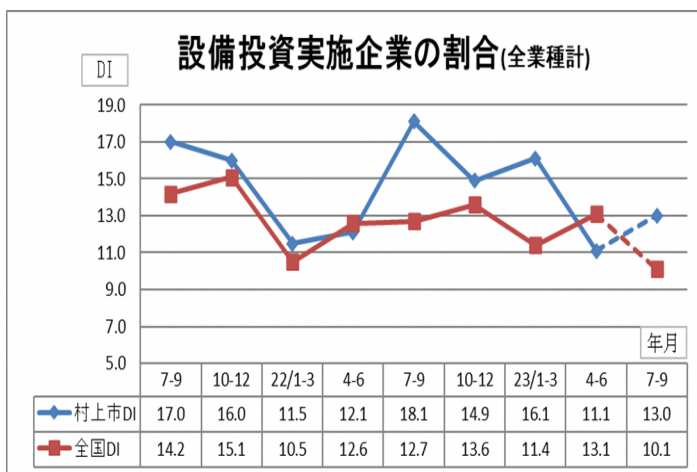
今期の資金繰りDI(全業種計)は、前期と比べ、8.1ポイント上昇し▲4.3となった。前期における今期予測(▲12.5)より8.2ポイント上昇し前年同月比では0.3ポイント上昇した。全国DIは8.0ポイント上昇し▲17.7となった。

来期については、5.0ポイント低下し▲9.3となる見通し。全国DIは6.2ポイント低下し▲23.9となる見通し。



今期の借入DI(全業種計)は、前期と比べ、7.0ポイント上昇し4.5となった。全国DIは3.4ポイント上昇し▲14.2となった。

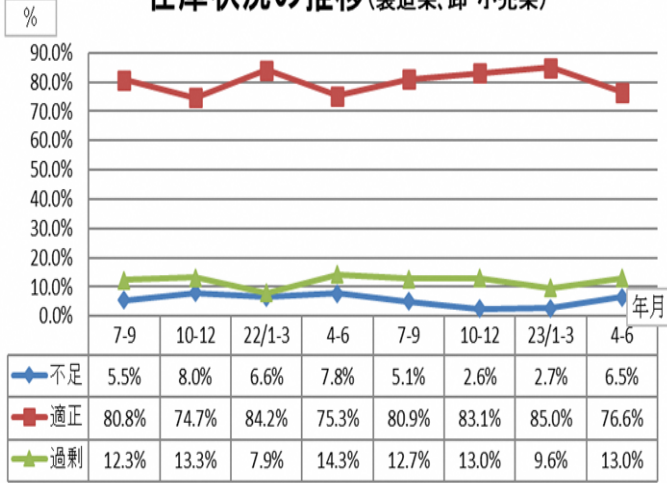
【借入DIの内訳】	前期	今期
・容易になった	1.2%	→ 5.1%
・変わらない	37.9%	→ 34.8%
・難しくなった	3.7%	→ 0.6%



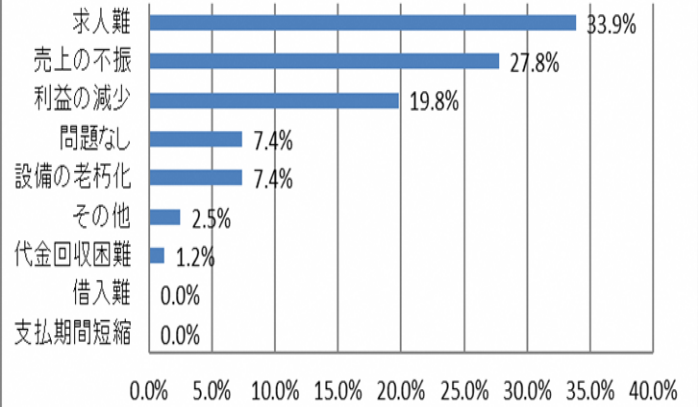
今期の設備投資実施企業の割合(全業種計)は、前期と比べ、5.0ポイント低下し11.1となった。前期における今期予測(11.1)とも同じ数値となった。全国DIは1.7ポイント上昇し13.1となった。

来期については、1.9ポイント上昇し13.0となる見通し。全国DIは3.0ポイント低下し10.1となる見通し。

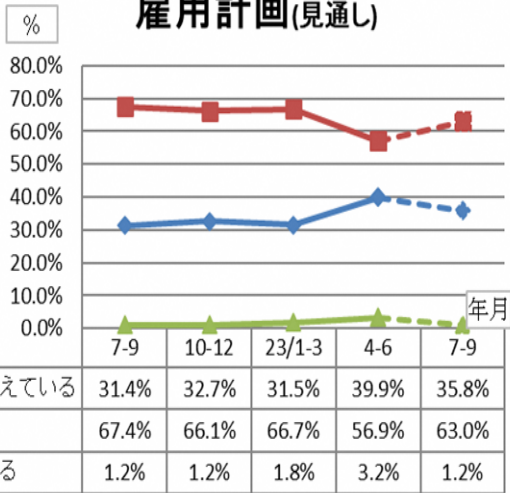
在庫状況の推移(製造業、卸・小売業)



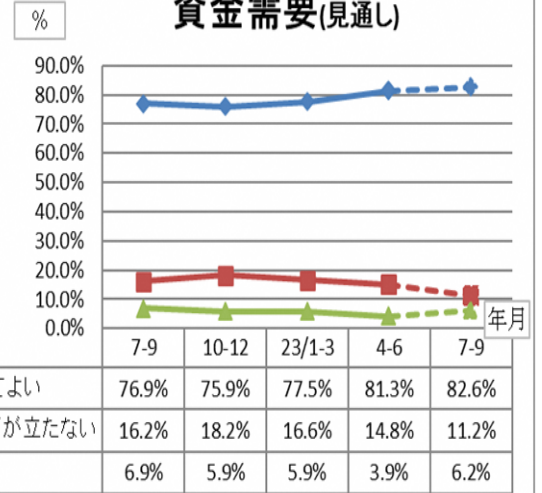
経営上の問題点



雇用計画(見通し)



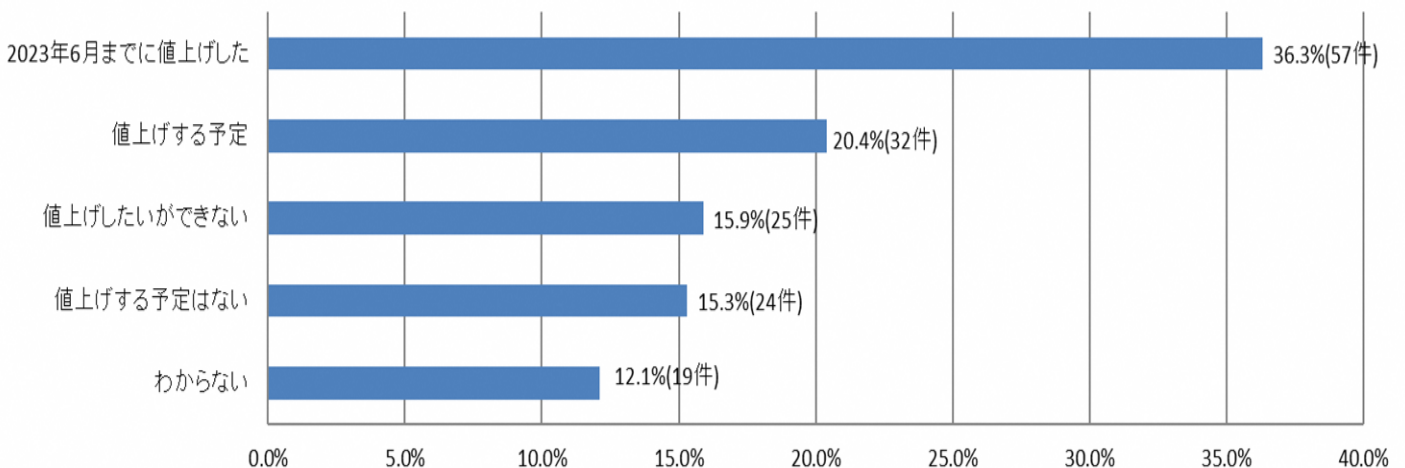
資金需要(見通し)



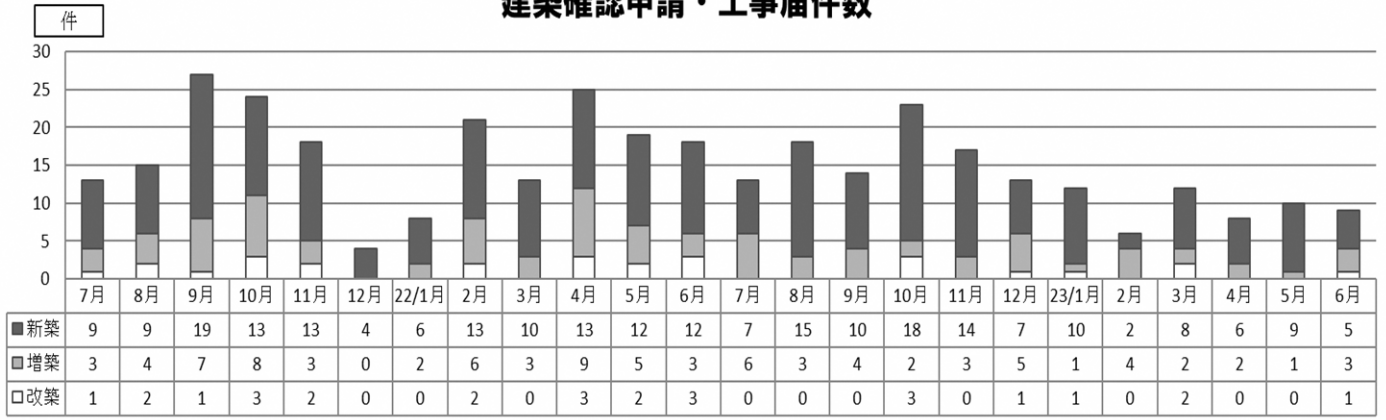
■原材料の仕入れコスト上昇による価格転換の状況について

原材料費の高騰、円安進行等による仕入れコスト上昇に対して価格転換を予定しているか、次のうち該当するものを選んでください。

原価高騰による価格転換の状況について

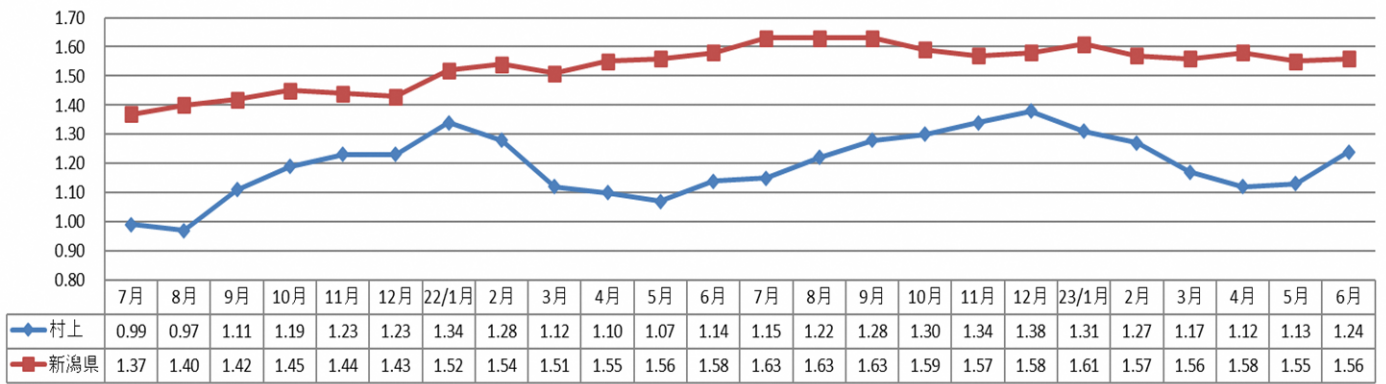


建築確認申請・工事届件数



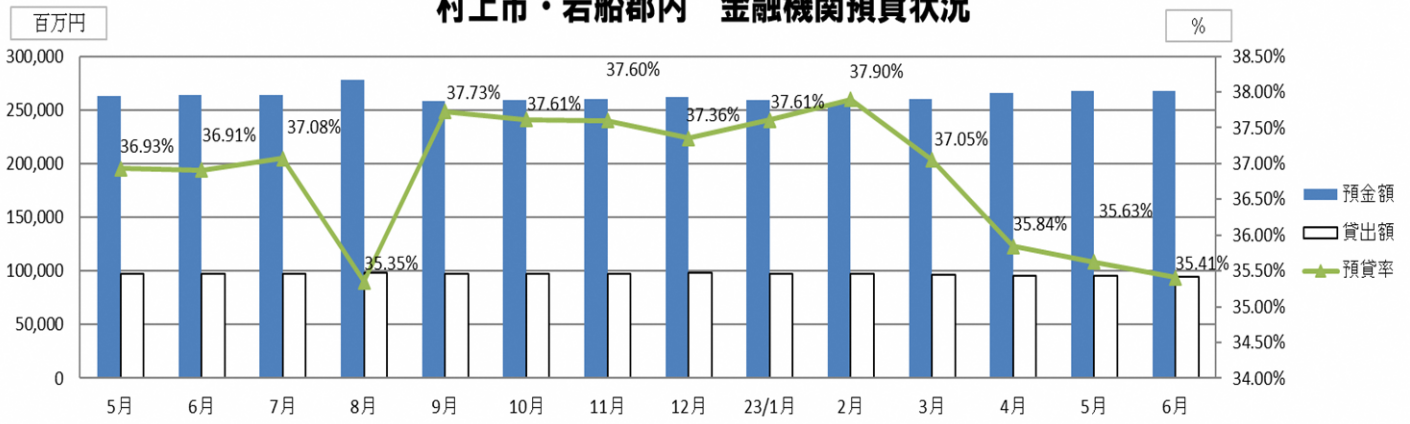
※本データは、新築・増築・改築の申請があった建築確認申請(民間受付含む)と工事届の合算となります。

村上職安管内 有効求人倍率(パートを含む全数)



※上記有効求人倍率は、季節調整値再計算により改訂した数値を記載しています。

村上市・岩船郡内 金融機関預貸状況



調査概要

調査時期	2023年6月中旬～2023年7月上旬
調査対象	村上市内事業所200社 有効回答数:163社(回収率81.5%) [業種] 卸売・小売業62社、建設業41社、製造業30社、飲食・宿泊業21社、サービス業46社 [地区] 村上地区104社、荒川地区33社、神林地区21社、朝日地区19社、山北地区23社
実施機関	村上市地域経済振興課、村上商工会議所、荒川商工会、神林商工会、朝日商工会、山北商工会
分析機関	村上商工会議所
参考資料	全国中小企業動向調査結果(小企業編)／日本政策金融公庫 (全国DI) 〈2023.4-6実績・2023.7-9見通し〉

DI値(景況判断指数)=[増加・好転などの回答割合]-[減少・悪化などの回答割合]

(※売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する)